

令和5年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業 (病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業) 事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

1. 背景・目的

<背景>

平成30年度に文部科学省「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」を受託し、入院高校生の遠隔教育の実施と普及に取り組んだ。何度も県内の高等学校や医療機関にも事業を紹介したこと、さらに、国の制度も段階的に変更されたことで、実施しやすい環境が整い、実施生徒は増加した。

機器面では、同時双方向型の授業のときに入院中も学校にいるような環境で学校とつながることができるよう、テレプレゼンス装置の導入やタブレットやモバイルルータの整備を行った。

また、リーフレット「復学支援マニュアル（H30）」、「高等学校における特別支援教育（R4）」を製作した。

<目的>

同時双方向型の授業に加えて、必要な生徒にオンデマンド型の授業が認められることにより、

- 1 病院および生徒への影響、治療等で出席できなかった授業もオンデマンド型の授業で学べることで、生徒の学習への満足度を高める。
- 2 医療機関や地域、学校（高等学校・中学校）への効果的な広報活動を通して、一人でも多くの生徒が、高校進学や将来の希望をあきらめず、治療に向き合う意欲を高める。

実施生徒の推移



※年度をまたぐ生徒は各年度で計上、R5はR6.2月末現在



令和5年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

2. 事業の内容及び成果

<内容>

1 オンデマンド型の授業の実施

(1) 対象生徒と期間

- ・県立の工業高等学校（全日制） 2 学年生徒 1 名（学年は本年度）
- ・令和4年10月7日～令和5年12月15日（同時双方型の授業のみの期間を含む）

(2) オンデマンド型・同時双方向型の授業において使用するICT機器・ICT環境

・配信用のソフト

オンライン会議システム 「Webex Meetings」

・ワークシート系 配布物

学習支援アプリ 「manaba」

授業支援アプリ 「Metamoji」

・配信側

授業配信タブレット端末（iPad）、kubi（テレプレゼンスロボット）、モバイルルーター、ウェアラブルカメラ、モバイルバッテリー、ビデオスイッチャー、スタンド、三脚、デジタルカメラ

・受信側

受信用のタブレット、「manaba」「Metamoji」用タブレット、複合機、マルチディスプレイ

令和5年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

2. 事業の内容及び成果

1 オンデマンド型の授業の実施

- (3) オンデマンド型の授業を実施する各教科・科目等
物理基礎、学校行事、ホームルーム活動
- (4) オンデマンド型の授業において使用する教材
録画した実験映像、ワークシートなど

(5) 評価

オンデマンド型の授業の視聴の確認および出席認定

学習支援アプリ「manaba」 ※閲覧状況確認可能

授業支援アプリ「Metamoji」 ※ワークシート実施により課題提出有無の確認

学習状況の評価方法の工夫や課題

考査の実施（理解度を確認）

ワークシートの提出

(6) 生徒の感想

長期入院することとなり、初めは戸惑いました。しかし、遠隔授業を受けられることとなり、勉強ができる環境を整えていただけて、あきらめることなく学習をすることができました。ありがとうございました。



令和5年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

2. 事業の内容及び成果

2 研修会の実施

- (1) 日 時 令和6年1月25日(木)
14:30~16:30
- (2) 開催方法 会場(県庁)、オンライン、オンデマンド
- (3) 参加者 140名
県内高校の特別支援教育コーディネーター、
養護教諭を中心とし、小中学校や特別支
援学校、医療関係機関に参加を呼びかけた。
- (4) 内 容 ・事業説明
・講演およびパネルディスカッション
テーマ「白血病高校生 院内学習の実態」
講師・パネラー
遠隔教育を実施した生徒の保護者
パネラー
岐阜市民病院 小児科部長
長良特別支援学校(岐阜県病弱教育コア・スクール) 教諭



令和5年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業 (病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業) 事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

2. 事業の内容及び成果

2 研修会の実施

(5) 参加者の感想

実際に授業を受けられた生徒さんの保護者の話を聞いたことは、大変貴重な機会だった。また、病院の先生の話の中で、「治療をして行く上で、治療に専念するだけでなく、学校に戻るという目標を持たせながら勉強をしていくことが大切だ」という言葉が印象的だった。学びたい気持ちが生きる力にもなるのだと思った。

3 リーフレットの発行

(1) タイトル 岐阜県における入院高校生の学習保障

(2) 発行時期と部数 令和6年2月 15,000部
ホームページにも公開

(3) 内 容 ・入院高校生の学習保障内容の説明
・実施生徒体験談

(4) 配 布 県内の小・中・高・特の各学校や、医療関係者など、幅広く配布する。

大切な仲間たちと過ごした最後の夏 新たな道を歩む先輩からのメッセージ



令和5年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 岐阜県教育委員会

3. 今後の課題

<課題>

事業全般について

- ・オンデマンド型授業の対象校が1校であったため、授業の録画による教材と、別教材作成による長期的な効果や学校側の負担などのデータ収集を行うところまで、進められなかった。

オンデマンド型の授業の学習評価について

- ・在校生と同じテストを違うタイミングで実施する場合、情報が漏れないように注意が必要。まったく同じテストは実施が難しい。(リスニング等)
- ・別のテストを準備することになれば、担当職員の負担が増える。
- ・課題のワークシートの提出時期が、各教科・科目等で同じタイミングになることが多く、生徒の負担となる場合がある。

本事業は、文部科学省の委託を受け、実施したものです。
報告書の詳細は、下記URLからご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/006/r05/1422284_00001.htm

